

## 10月は乳がん検診を

▶ 乳がんは日本人女性の9人に1人が生涯にかかると言われていています。また、年々増加傾向にあると言われていています。早期に発見した場合10年生存率は高く、早期に発見することが大切です。しかし、日本人女性の乳がん検診受診率は他国と比較して非常に低いです。

▶ 未受診の理由として

- ・忙しい
- ・結果が怖い
- ・マンモグラフィ検査は痛いと聞くので受けたくない。
- ・自分はまだ大丈夫だと思う。

などが挙げられます。

しかし現在、乳がん罹患数は**年間9万人以上**で死亡数も増加しています。

また罹患率の高い年代として40代後半と60代の2相性のピークがあります。

敬遠してしまいがちな検査ですが早期に発見できる大切さを理解し受診してほしいと思います。



当院の撮影装置

当院では10月と2月に日曜日検診を設けてます。この機会に受診してみませんか？

### 精度の高い検診とは

乳がん検診の精度は、一度の検査だけで決まるものではありません。高い検診精度を保つためには受診間隔、装置の性能、撮影技師、そして画像判定する読影医師すべて大切です。

検診マンモグラフィ撮影認定技師  
適切に撮影できなければいくら高性能な装置でも精度は十分に発揮されません。当院では撮影認定を取得した女性技師が撮影します。

### 装置の精度

近年の装置はより少ない線量で鮮明な画像を撮影できるように進化しており、また精度管理委員会から認定を受けた装置で撮影します。

検診マンモグラフィ読影認定医師  
乳がん検診では必ず複数の認定読影医師が画像を確認するダブルチェックを行い見逃しを防いでいます。

## 数分の検査で得られる安心

### 受診間隔

乳がんは時間の経過とともに新たに発生する可能性があります。2年に一度定期的に受診しましょう。